



文系大学生の技術教育

都立産業技術高専名誉教授 吉田喜一
現在日本の青年は小↓中↓高を通して、『家庭科』↓『技術・家庭科』↓『家庭科』の授業を学校教育で受けています。普通教育としての『技術教育』は最大限履修した場合でも小学校から高校までの全授業時数の1.6%です。

このようなカリキュラムの流れでは、人間の営みそのものである技術・労働の世界への手ほどこきという『技術教育』は、学校教育でほとんどなされていないといつてよい状況です。高校卒業後には50%以上の学生は更に理工系あるいは文系の学部に進みます。このようにして普通教育としての『技術教育』をまともに受けず工学部に入って来た学生と、大学教育のミスマッチは現在計り知れないものがあり、別に論議されなければなりません。

技術教育研究会（略称「技教研」）という小・中・高・（専）・大の先生が集まる全国的研究会があります。この「技教研」は「小・中・高校を一貫した技術教育のための教育課程試案―すべての子ども・青年を持続的発展可能な社会の主人公に―」と題する試案と提言を95年8月に約60ページの冊子にまとめ公表しま

した。次のような格調の高い文章で始まります。

今を生きる子どもたちすべてが、持続的発展の可能な社会の主人公、主権者として発達していくためには、普通教育としての技術教育が、もつと大切にされるべきではないでしょうか。

74年ユネスコは、『技術・職業教育に関する改正勧告』を採択し、『技術および労働の世界への手ほどこきは、これがなければ、普通教育が不完全になるような普通教育の本質的な構成要素になるべきである』とする原則を国際的に確認しました。

そしてこの20年間で、多くの国々では、技術教育を普通教育の本質的な構成要素にするというこの原則に沿った教育政策が遂行されました。

その結果、欧米先進諸国はもちろん、韓国や台湾等アジアの諸国でも、初等・中等教育を一貫した普通教育としての技術教育が拡充されました。世界の先進国と呼ばれる国の中で、これを確立していないのは日本だけといえます。

私は、97年度から土曜の朝1限に千葉商科大学（商学・経済学・経営学科）の学生に教養科目『現代技術論』という科目を非常勤講師として受け持つてきました。文系の大学に入った学生に対して普通教育としての『技術教育』に、この『現代技術論』を位置づけました。

どんな授業をしているか次号にお知らせいたします。



「消費生活アドバイザー」資格 を取得した目的

こんにちは。南千住5丁目・メガネのサトウ四代目です。今年最初のお話は、私が持っている「消費生活アドバイザー」資格と制度のご紹介です。

消費生活アドバイザー制度は、消費者と企業や行政の架け橋として、消費者の意向を企業経営や行政等への提言に反映させるとともに、消費者からの苦情相談等に対して迅速かつ適切なアドバイスができる人材を養成することを目的としています。試験に合格し、一定の要件を満たした方に対し、消費生活アドバイザーの称号が付与されます。【以上、(財)日本産業協会のwebサイトより】



うした消費者を欺くやり方とは一線を画し、信用と安心をこれからも大切にしたいと考えております。

もう一つの目的は、自分自身も「賢い消費者」になりたいという願望があったからです。「賢い消費者」と言っても、俗に言う「バーゲンハンター」を指すというのではなく（「ただし、私もセールや、ポイントカードなどは好きですが！）、冷静で客観的な視点を忘れることなく、平穏で心豊かな毎日が送れる消費者でありたいと思っております。様々な情報があふれる昨今、残念ながらトラブル（例えば、振り込め詐欺や、インチキ取引・投資話など）に巻き込まれてしまう人が後を絶ちません。騙されないためにも、正しい知識と情報の選別眼を持った「賢い消費者」でありたいと思うのです。

消費生活アドバイザー試験は、毎年秋に行われます。有名企業の消費者担当部署の方が多く受験されているようですが、受験資格は性別・年齢・学歴を問いません。独学でも充分合格可能ですし、通信講座等もあります。社会の視野が広がるという点で、就職活動前の学生が挑戦することもお勧めです。

【消費生活アドバイザー 佐藤 祐一郎】



■メガネのサトウ ■南千住5丁目43の13【コソ通り】

TEL 03 (3806) 4930

★休業日のごあんない【不定休です】★

1月：25（金）

2月：毎週火曜日

※2月の土・日・祝は、休まず営業いたします。ヤマト宅急便の発送受付も通常通り行います。

★営業時間のごあんない★

平日（月～金）：AM 9時30分～PM 7時

土・日・祝日：AM 10時30分～PM 6時